

思考と表現の一体化を図る

大阪市立堀江小学校

「総合」でICTの特性生かす

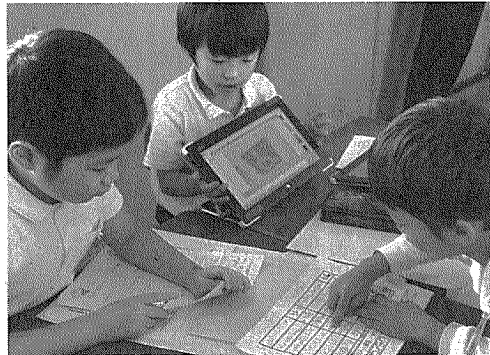
「ICTを活用した思考力・判断力・表現力を育む授業の創造」をテーマに、大阪市立堀江小学校(中山大嘉俊校長、児童880人)では、本年度から総合的な学習の時間に焦点を当て、

子どもの協働、具現化目指し



キャッチフレーズを作り、インタラクティブホワイトボードで情報の共有化を図った

4年1組の「総合的 な学習」では、愛媛県「ム」ガンバ大阪と、の同じ学校名の小学4 大阪で有名なお祭り、年生に向け、大阪の良 「天神祭」を調べた2 さを伝える「大阪キッ グループ」を発表。タプ スガイド」の作成に取 レットパソコンで作っ ち組んでいる。2目に た「ガイド」を、クラ 行われた公開授業で ス全体に披露した。



ICT機器を普通に使 25年度から最新の いこなす。ICT研究 ICT環境の中で研究 に取り組んで8年目。を進めている。現在、 タブレットパソコンは タブレットパソコンは

思考力・判断力・表 と」などを挙げた子ど 現力を育むために、言 もたち。それらを関係 語活動の充実を力を入 付け、さらには大阪をア ールでできるような「ガ イド」に付けるキャッ チフレーズを作る課題 を提示。調べて発表し て終わりではなく、課 題を設けることで地域 の良さや伝統などがさ ららに見えてくることをねらったという。

ルーブリック取り入れ授業改善へ

関心・意欲が高まり、 とが課題の一つだっ た」と指摘する研究主 任の井上伸一首席は 「本年度から学習の達 成度を判断する基準を 示すルーブリックを取 り入れ、授業改善など 「総合的な学習」で情 報活用能力を育む授業 している。

堀江小 11606・6
531-4821

授業過程モデルを軸に

研究テーマに迫るた とめ、振り返り」に取 の6類型にまとめた。 めに、同校ではICT り組み基本的な授業過 程モデルを設定。さら 活用と協働学習の場面 程モデルを設定。さら 踏まえ、デジタルとア の位置付けを明確にし にICT機器の効果的 ナログの組み合わせに ている。そのために、 な活用に関し、先行 も工夫を凝らす。

「課題をつかむ課題 研究からクラス共有」 同校では、日習授業 解決(学び合)と「ま 「交流」「収集」など で教師と子どもたちが

小学校

タブレットパソコンを使 を学校全体で共有する ために、週1回、学年 主任やICT活用指導 力担当などを中心に 「ICT部会」を開い ている。効果的な実践 事例などをまとめた 「ICT通信」も定期 各学年の授業でこの 的に発行し、それが若 ようにICT機器を活 用しているのか。それ 立っているという。